

## 72時間ネットワーク



メンバー間の連絡にも電子メールを活用（「72時間ネットワーク」事務局で、鎌田裕十朗代表㊦）

# 救援へ医師ら連携

東京・葛飾区の医師、鎌田裕十郎さん（40）らが進めている「72時間ネットワーク」プロジェクトは、阪神大震災を機に生まれた。

鎌田さんはAMDA（アジア医師連絡協議会）の会員医師。震災の翌日から5日間、神戸市長田区で医療活動に従事した。混乱の中でボランティア活動は困難を極めた。

「最初は医師や看護婦ら、受付の机並べや水の調達に追われた。効果的な活動には、日ごからボランティアのネ

ットワークを確保しておかねばと痛感した。

そこで、AMDAと海外での難民援助活動などで連携したことがある立正佼成会と「カンボジアのごまに学校をつくる会」（JHCB）、それに松下政経塾に声をかけて、昨年十月、緊急救援ボランティアの会を発足させた。

名称の「72時間」は、災害

発生時から七十二時間以内に活動を開始すること。各団体の特色を生かして役割を分担する。AMDAは医療活動、全国に組織のある立正佼成会は救援物資の調達、学生ボランティアが多数参加するJHCBは人的貢献、議員などにたいパブを持つ松下政経塾は行政との連絡調整だ。

「十二時五十五分にパワーショベルを積んだトレーラーが到着」「十五時三十分、国が付近は道路に多少の亀裂が入っているもの、比較的平穏」――。現場の状況をパニックから携帯電話を通じて本部に送り、インターネットに掲載。現場写真もデジタルカメラで撮影し、送信した。

ランティア団体にも参加を呼び掛けている。「各地域ごとに実働ネットワークを組織したい」と鎌田さん。

さらに「72時間ネットワーク」は、インターネットを利用した災害時の情報収集活動はできないかと模索している。昨年十二月十七日、東京湾に大規模な直下型地震が発生したと想定し、救援活動の訓練をした。その模様をAMDAのホームページ上で、逐次報告したのだ。

# 「参加したい」人々 ネットが後押し

66 X '99



NIKKEI

AMDA

Welcome to AMDA Internet Station!!!

- Emergency in English
- トワリビシ合衆国赤十字プロジェクト (11/9)
- メキシコ大震災救助プロジェクト
- インドネシア・スマトラ大規模地震プロジェクト (12)
- 日本赤十字社でのボランティア活動をお知らせ

Contents

「72時間ネットワーク」はAMDAのホームページ上で災害訓練の経過を同時進行で流した